

(1) 用語解説

用語	解説
ア行	
RPA(アールピーイー)	Robotic Process Automation の略。定型的なパソコン操作等をソフトウェアのロボットで自動化すること。
IoT(アイオーティ)	Internet of Thingsの略。IoTは、一般的にモノのインターネットといわれている。コンピュータなどの情報・通信機器だけでなく、世の中に存在する様々な物体(モノ)に通信機能を持たせたり、インターネットに接続したり相互に通信することにより、自動認識や自動制御、遠隔計測等を行うこと。
ICT(アイシーティ)	Information and Communication Technology(情報通信技術)のこと。
アクセシビリティ	情報やサービス、ソフトウェア等が、どの程度広い範囲の人に利用可能であるかを表す言葉。特に、高齢者や障がいがある人等ハンディを持つ人にとって、どの程度利用しやすいかということの意味する。
e-スポーツ	e-sports /electronic sports(エレクトロニックスポーツ)の略。広義には電子機器を用いて行う競技、娯楽、スポーツ全般をさす言葉であり、コンピュータゲームやビデオゲームを使った対戦をスポーツ競技として捉える際の名称。
AI(エーアイ)	Artificial Intelligenceの略。人間の知的営みをコンピュータに行わせるための技術のこと、または人間の知的営みを行うことができるコンピュータプログラムのこと。一般に「人工知能」と和訳される。
エシカル消費	エシカルとは倫理的、道徳的という意味で、エシカル消費とは人や社会、地域、環境に配慮した商品やサービスを自発的に選択して消費することをいう。
SNS(エスエヌエス)	Social Networking Serviceの略。インターネット上で人と人のコミュニティを形成するサイトで、趣味、出身、その他の共通のつながりにより、人間関係を構築する場を提供するサービス。
オープンデータ	公共性の高いデータの利活用を促進するため、編集、加工、再配布等の二次利用を可能とするルールの下で提供するデータ。
カ行	
カーボンニュートラル	二酸化炭素をはじめとする温室効果ガスの「排出量」から、森林などによる「吸収量」を差し引いて、合計を実質的にゼロにすること。
関係人口	移住してきた「定住人口」でも、観光に来た「交流人口」でもない、地域や地域の人々と多様に関わる人々のこと。
観光プラットフォーム	観光振興の取組を持続的に行うため、市民・事業者・行政など多様な主体が連携し、理念や目標を共有して利害を調整しながら、円滑に協力体制を築くための基盤のこと。
GIGAスクール	1人1台端末と、高速大容量の通信ネットワークを一体的に整備することで、特別な支援を必要とする子どもを含め、多様な子どもたちを誰一人取り残すことなく、公正に個別最適化され、資質・能力が一層確実に育成できる教育環境を実現することを目的とした取組。

用語	解説
カ行 基幹系業務	自治体における住民生活に密接した業務。住民記録、地方税、福祉等。
キャリア教育	社会的・職業的自立に向け、必要な基盤となる能力や態度を育てることを通して、一人ひとりの発達を促す教育。
キャリアノート	児童生徒が、学んだことや自分の成長を記録し、自分を見つめることで、将来の夢や目標を見つけて、それをかなえるための計画を立て、それに向かって進んでいく力を育成することを補助するツール。
クラウド	クラウド・コンピューティングの略。インターネットなどのネットワーク経由でユーザにサービスを提供する形態。
グリーンツーリズム	都市の人々が安らぎを求めて農山村などの田舎を訪れ、自然や文化に触れながら、農林業の体験や地元の人々と交流する滞在型余暇活動のこと。
経済循環林業システム	地域内の川上から川下の林業事業者が連携し、地域材を活用した木材製品の付加価値をつけて、需要拡大を図ることで経済循環を高める仕組み。
健康寿命	日常的、継続的に医療や介護に依存せず、自立した生活ができる生存期間。
5R(ゴアール)	Refuse:ごみになるものを断る、Reduce:ごみを発生させない、Reuse:ものを繰り返し使う、Repair:ものを修理して使う、Recycle:資源として再生利用することの頭文字をとったもので、ごみ減量など環境に配慮する取組のこと。
合理的配慮	障がいのある人から、社会の中にあるバリア(障がいとなることやもの、状況など)を取り除くための対応が求められたときに、負担が重すぎない範囲でバリアの除去を行うこと。
国土強靱化	大規模自然災害時に、人命を守り、経済社会への被害が致命的にならず、迅速に回復する「強さとしなやかさ」を備えた国土、経済社会システムを平時から構築すること。
子育てアプリ	子育て世代に対し、市の子育てに関する情報をタイムリーに、ダイレクトに届けるためのアプリ。イベントや子育て支援に関する情報入手、予防接種の予定や記録の管理ができる。
子育て支援センター	子育てに関する情報提供・相談・指導、子育ての学習・交流事業の実施、子育てグループの育成・支援など、地域の子育て支援を行う機関。
子育て世代包括支援センター	保健師等の専門スタッフが妊娠・出産・子育てに関する相談に対応し、必要に応じて支援プラン策定や保健医療・福祉の関係機関との連絡調整など、妊娠期から子育て期にわたる切れ目のない支援を一体的に行う機関。
子ども家庭総合支援センター	子どもとその家庭及び妊産婦等を対象に、福祉に関する必要な支援等を行い、特に要支援児童及び要保護児童などへの支援を行う機関。

用語	解説	
コワーキングスペース	パソコンやインターネットを利用し、場所の縛りがなく働く人たちが、利用者同士の交流を図りながら仕事をする共同利用型の場所。	
サ行	顧客体験のみならず、顧客体験を継続的に実現するための組織と仕組みをデザインする（よりよい状態に変える）ことで新たな価値を創出するための方法論	
	サイバーセキュリティ	電子データにより記録された情報の漏えいや改ざん等を防止するための安全性の確保。
	サテライトオフィス	企業または団体の本拠から離れた所に設置されたオフィスのこと。
	しーたん通信	宍粟市からの行政情報や地域内のイベント情報、防災防犯情報などを各家庭に設置されている音声告知端末から放送される通信システムのこと。
	資源循環型社会	環境への負荷を減らすため、自然界から採取する資源をできるだけ少なくし、有効に使うことで廃棄されるものを最小限に抑える社会。
	シティプロモーション	まちの魅力を市内外にアピールし、人や企業に関心を持ってもらうことで、人や企業の誘致や定着化を図り、将来にわたるまちの活力を得ることにつなげていく取組のこと。
	市民大学	18歳以上の市民が受講できる市内で開かれる講座や教室。
	準公共領域	健康・医療・介護、教育、こども、防災、モビリティ、農業・水産業・食関連産業、港湾、インフラなど、生活に密接に関連し、国による関与が大きく他の民間分野への波及効果が大きいもの。
	消費者市民社会	消費者一人ひとりが、自分だけでなく周りの人々や、将来生まれる人々の状況、内外の社会経済情勢や地球環境にまで与える影響を考慮して商品・サービスを選ぶなど、公正で持続可能な社会の発展に貢献する消費行動を実践する社会。
	食育	様々な経験を通じ「食」に関する知識と「食」を選択する力を習得し、健全な食生活を実践することができる人を育てること。
	森林環境譲与税	温室効果ガス排出削減や災害防止等を目的とした森林整備等を図るため、国内に住所を有する個人から徴収し、間伐などを実施する市町村や支援する都道府県に配分する税のこと。
	森林クラウドシステム	クラウド事業者のサーバに関係機関が持つ森林情報（地図情報等）を集積し、リアルタイムで情報の共有と活用を行うシステム。
	森林経営計画	森林所有者または森林の経営の委託を受けた者が、自ら森林の経営を行う一体的なまとまりのある森林を対象として、森林の施業及び保護について作成する5年を1期とする計画。
森林セラピー	森林がもたらす健康増進・リラックス・癒しの効果が科学的に検証された森林浴のこと。	

用語	解説	
GIS (ジーアイエス)	Geographic Information System の略。地理情報システムのことで、位置に関する情報を持ったデータ (空間データ) を総合的に管理・加工し、視覚的に表示し、高度な分析や迅速な判断を可能にする技術。	
GPS (ジーピーエス)	Global Positioning System の略。全地球測位システムのことで、人工衛星を利用して現在位置を測定するシステムで、受信機が複数の通信衛星から電波を受信して、緯度・経度・高度などを割り出す技術。	
スマートシティ	ICT等の新技術を活用しつつ、マネジメント (計画、整備、管理・運営等) の高度化により、都市や地域の抱える諸課題の解決を行い、また新たな価値を創出し続ける、持続可能な都市や地域であり、Society 5.0の先行的な実現の場。	
スマート農業	ロボット技術やICT (情報通信技術) を活用して、省力化・精密化や高品質生産を実現するなどを推進する新しい農業の形。	
スタートアップ	革新的な技術や発想によって新たな価値を生み出し、社会に大きな変化をもたらす取組や、新たなビジネスモデルを構築し、短期間で急成長をめざす起業家やその動き。	
スタートアップエコシステム	大企業や大学の研究機関、公共機関などがネットワークを作り、スタートアップを生み出しながら発展していくシステム。	
生活圏の拠点	町域を1つの「生活圏」と捉え、その中に小売店舗や金融機関、医療機関、公共施設など日常生活に必要な様々な機能を備えた拠点。	
全国瞬時警報システム (J-ALERT)	弾道ミサイル情報、緊急地震速報、津波警報等、対処に時間的余裕のない事態に関する情報を、緊急速報メールや市町村防災行政無線などにより、国から住民まで瞬時に伝達するシステム。	
ソーシャルメディア	SNSやツイッターなどに代表される、誰もが参加でき、双方向でコミュニケーションを取ることで、人と人をつなぐ媒体のこと。	
Society5.0	サイバー空間 (仮想空間) とフィジカル空間 (現実空間) を高度に融合させたシステムにより、経済発展と社会的課題の解決を両立する、人間中心の社会。狩猟社会 (Society1.0)、農耕社会 (Society2.0)、工業社会 (Society3.0)、情報社会 (Society4.0) に続く新たな社会 (超スマート社会) の実現に向けた一連の取組。	
夕行	タウンミーティング	行政などが実施する主に地域住民の生活に関わる事項を話題とする対話型集会のこと。
	多文化共生	国籍や民族などの異なる人々が、互いの文化的違いを認め合い、対等な関係を築こうとしながら、地域社会の構成員として共に生きていくこと。
	地域おこし協力隊	人口減少や高齢化などの進行が著しい地方で地域外の人材を受け入れ、地域協力活動を行ってもらい、その定住・定着を図ることで地域力の維持・強化を図っていくことを目的とした制度。
	地域共生社会	制度や分野ごとの縦割りや支え手・担い手という役割を超え、地域住民や地域の様々な主体が『我が事』として地域に参画し、人と人、人と資源が世代や分野を超えて『丸ごと』つながることで、住民の暮らしや生きがい、地域を共に創っていく社会。
	地域包括ケアシステム	高齢者が住み慣れた地域で自分らしい暮らしを人生の最期まで続けられるよう、住まい・医療・介護・予防・生活支援を一体的に提供する仕組み。

用語	解説
地区コミュニティ支援員	市民と行政が協働で地域の自主的な活動を支援するためのコーディネーター役のこと。
定住自立圏構想	たつの市を中心市とした宍粟市、上郡町、佐用町による協定で、産業、自然環境、歴史、文化など地域の魅力を活用し、相互に役割分担、連携・協力することで圏域全体で必要な生活機能を確保し、地方圏において人口定住を促進する構想。
定住促進コーディネーター	宍粟市に移住を検討している人を対象に、移住・定住に関する相談に応えたり、地域とのつなぎ役を担う専門職。
データ連携基盤	異なるシステム間でデータをやり取りする際の基盤となるシステム。
デジタル3原則	国が掲げる行政のデジタル化を推進する上での基本原則。①デジタルファースト：個々の手続・サービスが一貫してデジタルで完結すること ②ワンスオンリー：一度提出した情報は、二度提出することを不要とすること ③コネクテッド・ワンストップ：民間サービスを含め、複数の手続・サービスをワンストップで実現すること
デジタル人材	デジタル技術及びその活用方法についての知識があり、業務に活用できる人材
デジタルデバイド	インターネットやパソコン等の情報通信技術を利用できる者と利用できない者の間に生じる格差。情報格差。
デジタルトランスフォーメーション(DX)	D(デジタル)とX(トランスフォーメーション:変革)を組み合わせた言葉。ICTの浸透が人々の生活をあらゆる面でより良い方向に変化させること。
デジタルリテラシー	デジタル機器の操作等の能力や、情報を取り扱う上での理解、更には情報及び情報手段を主体的に選択し、収集活用するための能力。
デジタル録音図書	デジタル録音された音声による本。
出前講座	市民の学習意欲に応え、市職員が市の取組などについて、地域に出向いて説明する事業。
デマンド交通	利用者の予約に応じる形で運行経路や運行スケジュールを合わせて運行する地域公共交通。
テレワーク	ICTを利用し、時間や場所を有効に活用できる柔軟な働き方。在宅勤務、サテライトオフィス勤務、モバイルワーク(持ち運び可能なノートパソコン等を活用した働き方)の3つに大別される。
電子図書館	インターネット経由で電子書籍を貸し出したり、電子化された資料を見られる図書館のこと。
ドローン	遠隔操作または自動制御により飛行する無人航空機。
ナ行 二地域居住	都市部と地方の2つの生活拠点をもち、定期的に地方でのんびり過ごしたり、仕事をしたりするライフスタイル。
ネットパトロール	児童生徒のインターネット上での行動を見回り、問題投稿に対して注意喚起を行うこと。

用語	解説
ハ行 BOD(ビーオーディ)	Biochemical oxygen demandの略。水の汚染を表す指標。生物化学的酸素要求量。数値が低いほど水質が良いとされる。
BPR(ビーピーアール)	Business Process Re-engineering(ビジネスプロセス・リエンジニアリング)の略。業務の本来の目的に向かって、既存の組織や制度を抜本的に見直し、プロセスの視点で、職務、業務フロー、管理機構、情報システムをデザインしなおす(リエンジニアリング)という考え方。現在の業務プロセスを詳細に調査・分解し、どのような問題点があるかを徹底的に分析したのち、業務プロセスそのものの再構築をはかること。業務改革。
ビッグデータ	従来のデータベース管理システムなどでは記録や保管、解析が難しいような巨大なデータ群。
ひょうご(しろう)防災ネット	兵庫県及び兵庫県内の市町から「避難に関する情報」などの緊急情報や、地震、津波、気象警報などの防災に関する様々な情報を提供するサービス。
5G(ファイブジー)	超高速、超低遅延、多数同時接続といった特長を持つ、第5世代移動通信システム。
ファミリーサポートセンター	市町村が設置運営し、子どもの預かり等の「援助を受けたい人」と「援助を行いたい人」が会員となって、子育てに関する地域相互援助活動を支える制度。
ふるさと納税	応援したい自治体に寄附することで、返礼品を受け取ることができるとともに、寄附金が所得税・住民税の控除の対象となる制度。
フレイル	加齢により心身が老い衰えた状態。
ペレットボイラー	オガ粉やかんな屑など製材副産物を圧縮成型した小粒の固形燃料である木質ペレットを燃料として使用できる温水ボイラー。
マ行 マイナポータル	国が運営するオンラインサービス。子育てや介護等の行政手続のオンライン申請がワンストップでできる。
マイナンバーカード	住民の方からの申請により無料で交付される、氏名、住所、生年月日、性別などが記載された、顔写真付きのプラスチック製のカード。カードのおもて面は顔写真付きの本人確認書類として利用できる。裏面にはマイナンバー(12桁の番号)が記載されており、法令または条例で定められた手続におけるマイナンバーの確認に利用できる。ICチップを利用してオンライン上で安全かつ確実に本人であることを証明できるツール。
メディアリテラシー	メディア(新聞、テレビ、インターネットなど)からの情報を主体的に選択し、内容を分析して活用したり、情報を発信したりできる能力のこと。
木育	木の良さや文化、利用することの意義、森林が持つ役割や環境など、木や森林について、知る・学ぶ・体験するなど関わりを深めていく取組。

用語	解説	
	木質バイオマス	バイオマスは木材、生ごみ、紙、動物の死骸・糞尿、プランクトンなど、化石燃料を除いた再生可能由来の有機エネルギーや資源のこと。
	モビリティマネジメント	渋滞や環境、個人の健康などに配慮し、過度に自動車に頼る状態から公共交通や自転車などを適度に使う方向へと転換することを促す取組。
ヤ行	UI(ユーザーインターフェース)	User Interface の略。利用者がパソコン等を操作する上での環境、Webサイトやアプリの扱いやすさや操作性。
	UX(ユーザーエクスペリエンス)	User experience の略。利用者がサービス等を利用した際の体験や経験
	UJIターン	大都市圏の居住者の地方移住の形態の総称。Uターンは出身地に戻る形態、Jターンは出身地の近くの地方都市に移住する形態、Iターンは出身地以外の地方へ移住する形態を指す。
ラ行	連携中枢都市圏構想	姫路市を中枢都市とした、社会的・経済的に結びつきの強い8市8町(姫路市、相生市、加古川市、赤穂市、高砂市、加西市、宍粟市、たつの市、稲美町、播磨町、市川町、福崎町、神河町、太子町、上郡町、佐用町)により、市・町が対等協力の立場で団結し、①播磨圏域の経済の活性化、②圏域の魅力の向上、③住民に安心快適な圏域づくりに取り組み、播磨圏域の地方創生を進める構想。
	6次産業化	1次産業(農林漁業等)、2次産業(製造業等)、3次産業(小売、サービス業等)を組み合わせることで付加価値を高めること。1+2+3=6または1×2×3=6という計算から6次産業と呼ばれる。
ワ行	ワーク・ライフ・バランス	一人ひとりがやりがいや充実感を感じながら働き、仕事上の責任を果たすとともに、家庭生活や地域生活などにおいても多様な生き方が選択・実現できること。
	Wi-Fi(ワイファイ)	無線通信の国際標準通信規格で、IEEE802.11シリーズを利用した無線通信。一般的には、インターネットにつながる無線通信が使用可能な環境のことを指すことが多い。
	わくわ〜くステーション	宍粟市役所内にある無料職業紹介や就労支援の機能を備えた総合的な仕事の相談窓口。
	ワンストップ窓口	自治体での各種手続きにおける市民の窓口をひとつに集約し、ワンストップで手続きを完結する取組。